

令和7年3月19日 作成 小原 脩平
令和7年3月19日 追記 西 隆博
令和7年3月22日 修正 神門 正城
令和7年4月7日 修正 大谷 将志

ビーム物理研究会総会 2025
議事録

日時：2025年3月13日(木) 13:40-14:10

開催方式：ハイブリッド方式（対面：QST 関西光量子科学研究所、オンライン：Zoom）

出席者(順不同・敬称略)：63名

現地参加者: 55名

浅井 佑哉(広島大), 大金 遥(広島大), 岡本 宏己(広島大), 加藤 公泰(広島大), 栗木 雅夫(広島大), 佐々木 遥大(広島大), 室尾 健人(広島大), 山根 紀洋(広島大), 安積 隆夫(QST), 小原 脩平(QST), 川瀬 啓悟(QST), 神門 正城(QST), 小島 完興(QST), 近藤 康太郎(QST), 畑 昌育(QST), 宮武 立彦(QST), 百合 庸介(QST), 安彦 颯人(東北大), 工藤 滉大(東北大), 永山 晶大(東北大), 板倉 菜美(大阪大), 佐藤 新悟(大阪大), 金 展(大阪大), 内藤 圭祐(大阪大), 松井 昇大朗(大阪大), 水田 好雄(大阪大), 武藤 俊哉(大阪大), Liru Yin(大阪大), 井上 翔一(長岡技科大), 岩下 芳久(京都大), 吉村 宣倅(京都大), 大谷 将士(KEK), 篠原 智史(KEK), 内藤 大地(KEK), 長尾 大樹(KEK), 中村 剛(KEK), 満田 史織(KEK), 山本 尚人(KEK), 大塚 崇光(宇都宮大), 坂本 千明(宇都宮大), 塩澤 友紀(宇都宮大), 白坂 幹人(宇都宮大), 高久 隼太郎(宇都宮大), 種倉 遥斗(宇都宮大), 笠垣 飛人(住友重機械), グエン フック(総研大), 小島 邦洸(JAEA), 山田 逸平(JAEA), 後長 葵(兵庫県立大), 近藤 彩夏(名古屋大), 澁谷 達則(産総研), 西 幸太郎(東京大), 丸 征那(東京大), 西 隆博(理研), 松本 悠椰(九州大),

オンライン参加者: 8名

小林 愛音(KEK), 金田 健一(Helical Fusion), 鷺尾 方一(早稲田大), 北村 遼(JAEA), 不破 康裕(JAEA), 原田 寛之(JAEA), 守屋 克洋(JAEA), 黒田 隆之助(産総研)
(ただし Zoom 上での参加者は 3/13 13:20 時点での参加者を出席者として計上した。)

進行：西

書記：小原、金

資料：

ビーム物理総会(20240917)議事録_案_2024Oct7th.docx：前回議事録（西氏）

250313_beamwakate.pdf：ビーム物理若手の会 活動報告（大谷氏）

202503 拡大幹事会資料_配布 ver_v0.pdf: 本総会資料（神門氏）

物理学会キーワード.xlsx: 総会補足資料（神門氏）

議事内容

1. 前回議事録確認 [審議(承認)事項]

2. 報告・審議事項

2-1. 日本物理学会ビーム物理領域

[大会関連]

2-1-1. 一般講演

2-1-2. [領域運営関連] 合同セッション

2-1-3. 招待・企画・シンポジウム講演

2-1-4. 若手奨励賞について

2-1-5. 日本物理学会 学生優秀発表賞について

2-1-6. [審議事項] キーワードの追加/変更について

2-1-7. 来年度春季、年次大会までのスケジュール

2-1-8. [報告] 理事会より(1)

2-1-9. [報告・議論] 理事会より(2)

2-1-10. [報告] 若手発表賞の複数回受賞について

2-1-11. [報告] 2025 年 1 月のアンケート結果について

2-1-12. [報告] 現 / 次期執行部と事務局について

2-1-13. [審議(承認)事項] 次期領域運営委員 (2025/10-2026/03 について)

2-2. ビーム物理研究会関連

[研究会関連]

2-2-1. 2024 年度ビーム物理研究会・若手の会の報告及び次回(2025 年度)の開催について

[研究会運営関連]

2-2-2. 若手の会の活動報告(KEK 大谷氏)

2-3. 日本加速器学会関連

2-3-1. 第 22 回日本加速器学会年会について

3.その他

3-1. 次回の総会・拡大幹事会〔審議事項〕

1. 前回議事録確認（資料 ビーム物理総会(20240917)議事録_案_2024Oct7th.docx）

2024 年 8 月 7 日に日本物理学会@北海道大学に合わせて対面にて開催されたビーム物理研究会インフォーマルミーティング 2024 の議事録(ビーム物理総会(20240917)議事録_案_2024Oct7th.docx)について内容確認が行われた。事前にメールで配布したため、総会での読み合わせは省略された。議事録の修正や追加に関して意見やコメントはなく、議事録が承認された。承認された議事録はビーム物理研究会の HP にて掲載される。

2. 報告・審議事項

2-1.日本物理学会ビーム物理領域[大会関連]

2-1-1. 一般講演

インフォーマルミーティング 2024 にて報告済みであるため割愛する。

2-1-2. [領域運営関連]合同セッション

インフォーマルミーティング 2024 にて報告済みであるため割愛する。

2-1-3. 招待・企画・シンポジウム講演

インフォーマルミーティング 2024 にて報告済みであるため割愛する。

2-1-4. 若手奨励賞について

第 19 回(2025 年)の受賞者：2 名

○中沢 雄河氏（理研仁科）

「J-PARC ミューオン g-2/EDM 精密測定実験におけるミューオン線形加速器の開発に係る研究」

○藍 沢塵氏（QST 関西研）

「レーザー駆動中性子共鳴分光によるシングルショット温度計測技術の開発」

2025 年 9 月の物理学会ビーム物理領域で受賞記念講演を実施予定

第 20 回（2026 年）若手奨励賞募集

表彰件数 2 名以内。

応募または推薦の締切 2025 年 7 月 31 日(予定)。例年応募件数の少ない状態が続いている。博士論文も審査対象となるので、より多くの推薦を促していただきたい。

詳細は研究会 ML または HP を参照 <http://beam-physics.kek.jp/bpc/>

英語での案内も整備している。

2-1-5. 日本物理学会 学生優秀発表賞について

2019 年 3 月の年次大会より学生優秀発表賞の審査及び授与を開始した。

審査希望者は講演申込み時にエントリーする必要がある、概要原稿の提出が必須となっている。2024 年 9 月の年次大会では 15 名の申し込みがあり、受賞者は下記 5 名となった。

○浅井 佑哉 (広島大先進理) 18pB111-11

単一電子からのアンジュレータ放射の光子統計

○永山 晶大 (東北大理) 18pC209-9

大強度陽子加速器における遅い取り出しのための非破壊型静電セプトムの開発

○室尾 健人 (広大院先進) 18aC209-10

ポールトラップ中で生成されたクーロン結晶からの単一イオン分離・射出実験

○西 幸太郎 (東大理) 16aB111-8

アンジュレータ放射光干渉法によるサブ GeV 領域電子ビームエネルギー測定

○小林 建輝 (東大原国) 18pB111-7

プリバンチド FEL 発振に向けた光共振器開発

2025 年夏の日本物理学会年次大会でも審査を実施予定

講演申込み時にエントリーする。概要原稿の提出必須。

2-1-6. [審議事項] キーワードの追加/変更について

現在のキーワードについては、事前に配布済み。総会補足資料(物理学会キーワード.xlsx)参照。

会場での追加/変更希望は出なかったが、新たに追加 / 変更したいキーワードがあれば、西氏まで連絡。

2-1-7. 来年度大会までのスケジュール

2025 年春季大会 (素核宇・物性)

会期: 2025 年 3 月 18 日 (火) ~21 日 (金)

会場：オンライン開催

ビーム物理領域のセッションを設けず、一般講演はなし。

合同シンポジウムの開催などは行う。

2026 年 第 80 回年次大会

会期：2025 年 9 月 16 日（火）～9 月 19 日（金）

会場：広島大学（東広島キャンパス）

2-1-8. [報告]理事会より(1)

1. 今後の大会の日程・開催地について

(1) 年次大会と分科会の開催時期・日程について

① 3 月に春季大会（オンライン）、9 月に年次大会（対面）と、当面の間は開催時期を固定することとした。

② オンライン開催は「土日祝日を含まない連続した平日 4 日間」、もしくは「土日祝日を挟む平日 4 日間」で調整する。

③ 対面開催は現地会場の都合を優先するため「極力、土日祝日を避ける」とどめる。

(2) 今後の大会について、以下のとおり開催が決定した。

① 2026 年春季大会（オンライン）：2026 年 3 月 23 日(月)～26 日(木)

② 2027 年春季大会（オンライン）：2027 年 3 月 16 日(火)～19 日(金)

③ 第 81 回年次大会（2026 年）：2026 年 9 月 14 日(月)～17 日(木)@東京大学（駒場キャンパス）

（第 80 回年次大会（2025 年）：2025 年 9 月 16 日(火)～19 日(金)@広島大学はすでに決定しているため議論には含まれていない。）

2. 概要集（記録保存用 DVD 版）の今後の取り扱いについて

○購入および発送を、年度を跨がないように大会の翌月以降とすることとした。

○購入申込は従来の参加登録画面からではなく、大会翌月に DVD 版申込専用ページから受け付けるように変更する。

3. 講演申し込み時期の調整について

講演申込数の増加を見込む対策として、一般講演の申込時期を 1 か月程度遅くすることとなった。

それに伴い、プログラム校正作業の煩雑さを減らすため、登壇者変更、講演取消、講演移動以外は、原則受け付けない方針とする。

共著者の氏名・所属の修正・追加、題目変更は講演申込期間中にのみ受け付ける。

4. オンライン開催時（春季大会）の会員（学生）の聴講無料化について

以下の条件のもと、オンライン開催時は「聴講のみの会員（学生）」の参加登録を無料とすることとなった。

- ・無料聴講は早期参加登録のみ。（期日後参加登録は有料。）のため、積極的に参加して欲しい
- ・非会員（学生）、会友（学生）は有料。

2-1-9. [報告・議題]理事会より(2)

80 周年記念国際シンポジウムに関して

2026 年 9 月に開催される第 81 回年次大会@東京大学駒場キャンパスに合わせて、前日 9/13 に 80 周年記念国際シンポジウムを開催。記念シンポジウムとサテライトセッションを行うことが通知された。

同時翻訳字幕機能の導入について

2025 年春季大会にて Zoom の同時翻訳を試験的運用。

2-1-10. [報告] 若手発表賞複数回受賞について

機会を増やすために、複数回受賞に制限を設けることがインフォーマルミーティングにて決定したことを受け、規定を執行部で変更し、2024 年 11 月 0 日付で理事会にて了承された。

規定に下記文言が追加された。

(8) 受賞回数：同一の会員のビーム物理領域における本賞の受賞は 1 回限りとする。

なお、他領域での受賞回数は数えないものとする。

2-1-11. [報告] 2025.1 月のアンケート結果について

理事会より『2026 年春季大会以降に「ポスター発表に代わる発表形式」の導入を視野に検討することとなりましたので、つきましては、領域インフォーマルミーティングでも本件をご議論いただき』たいという旨の連絡があった。本ビーム物理領域ではポスターセッションを開催していないため、議論は割愛した。

[領域運営関連]

2-1-12. 執行部と事務局の確認 (2023/04 - 2025/03 について)

現在(任期：2023 年 4 月 1 日-2025 年 3 月 31 日)

以下の執行部体制となっている。

<ビーム物理研究会>

会長：神門正城(QST,関西研)

副会長：栗木雅夫(広大)・安積隆夫(QST,ナノテラス)

<日本物理学会ビーム物理領域>

代表：神門正城(QST,関西研)

副代表：安積隆夫(QST,ナノテラス)

<事務局>

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 関西光量子科学研究所
京都府木津川市梅見台 8 丁目 1 番地 7

次期 (任期：2025 年 4 月 1 日-2027 年 3 月 31 日)

次期領域代表・副代表について、安積氏から KEK 満田氏が推薦され、前回のインフォーマルミーティング 2024 にて承認された。

<ビーム物理研究会>

会長：安積隆夫(QST,ナノテラス)

副会長：神門正城(QST,関西研)、満田史織 (KEK)

<日本物理学会ビーム物理領域>

代表：安積隆夫(QST,ナノテラス)

副代表：満田史織 (KEK)

<事務局>

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 NanoTerasu センター
宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉 468-1 ナノテラス

2-1-13. 次期領域運営委員(2025/10 - 2026/09 について)

領域運営委員の金 展氏（大阪大学 産業科学研究所）の後任として、JAEA の守屋氏が推薦され、承認された。任期は 2025 年 10 月から 2026 年 9 月までの 1 年間となる。

任期	領域運営委員
2023/04 - 2024/03	不破康裕(アドバイザー)
2023/10 - 2024/09	黄開
2024/04 - 2025/03	西隆博(現)
2024/10 - 2025/09	小原脩平(現)
2025/04 - 2026/03	金 展 (引き継ぎ中)
2025/10 - 2026/09	守屋 克洋 (今回承認)

推薦理由:

守屋氏は 2023 年に日本物理学会若手奨励賞も取っている非常に有望な若手研究者であり、昨年の物理学会でシンポジウムも提案するなど分野全体のためにも貢献してきている。今後も領域委員として積極的に活動してくれると期待できる。

[研究会関連]

2-2. ビーム物理研究会関連

2-2-1. ビーム物理研究会・若手の会 2024 年度 の開催報告

主催：QST 関西光量子科学研究所

時期：2025 年 3 月 12 日ー14 日

場所：QST 関西光量子科学研究所

本総会開催がビーム物理研究会若手の会 2024 年度の開催期間中であるため、次回日本物理学会インフォーマルミーティング 2025 にて報告を行う。

2-2-1. ビーム物理研究会・若手の会 2025 について

SPring-8 または KEK を開催場所として検討中。

施設見学等をするため、施設運転計画と考慮しながら調整予定。

2-2-2. 若手の会の活動報告(資料: 250313_beamwakate.pdf)

会員数について報告があった。2025 年 2 月末現在会員数 145 名であり、ここ数年は微増(数人/年)傾向。

企画研究会

2024 年度の修士博士論文の発表を若手の会に広く共有してもらう。公聴会のスライドそのままを発表。講演者と日時は講演者と調整して随時開催。

加速器レーザースクールの開催予告が行われた。実施場所と日程は下記の予定。

実施場所:広島国際会議場(予定)

日程: 2024/9/14-15 or 20-21 (物理学会年会の前後)

KEK 加速器科学国際育成事業 (KEK IINAS-NX)により旅費の支援を行う予定。

旅費の申請は 30 人位を支援予定で申請しており、採択は決まっている。

物理学会にも参加する場合は適宜相談。

オンラインでの開催は現時点では未検討であるが、オンライン開催希望の意見が出た。

若手発表賞について、口頭発表に加えてポスター賞も新設する旨が報告され、趣旨についての説明があった。

2-3. 日本加速器学会関連

2-3-1. 第 22 回日本加速器学会年会について

第 22 回日本加速器学会年会のお知らせ

主催：日本加速器学会

共催(予定)：東京科学大学総合研究院ゼロカーボンエネルギー研究所、東京都市大学理工学部原子力安全工学科/理工学部原子力研究所、東京大学大学院工学系研究科原子力専攻

会期：2025 年 8 月 6 日（水）～ 9 日（土）※施設見学も含む

会場：東京都市大学 世田谷キャンパス

特別講演： 検討中

懇親会： 会場内で実施予定

見学： 検討中

実施体制：

実行委員長 ： 林崎 規託 （東京科学大学）

プログラム委員長 ： 坂上 和之 （東京大学）
副実行委員長 ： 羽倉 尚人 （東京都市大学）

3. その他

3-1. 次回の総会・拡大幹事会・インフォーマルミーティング

次回の総会・インフォーマルミーティングについては2025年9月に日本物理学会年次大会期間中(9/16~9/19)にインフォーマルミーティングを行う。

日本物理学会におけるシンポジウム・企画講演募集中の案内があった。

西氏から紹介があり、理研仁科センター奥野氏より「核融合分野に貢献する大強度ハドロンビームの開発」というタイトルで共催シンポジウム提案があった。

ゴールデンウィーク明けまでには講演者情報を提出する必要がある。

神門氏

「ビーム物理領域も3月の春期分科会に参加してほしい」と打診があった。2024年度(2025年3月)は神門氏の判断で断った。来年度も打診があるはず。引き続き議論を要する。